

stimulant. The oviposition stimulant of *B. alcinous* was extracted from roots of *Aristolochia debilis* Sieb. et Zucc., which was subjected to further fractionation by monitoring behavioral bioassay. The active principle(s) was not found in the steam distillate but in the residue. It was insoluble in ether and ethyl acetate, but soluble in water. In the case of *P. xuthus* active principle(s) was separated from *Citrus natsudaidai* Hayata. The methanol extract was dissolved in

water and fractionated by washing with ether, ethyl acetate, and *n*-butyl alcohol successively. The activity was still remained in the water layer. Then the water layer was treated with active carbon. The activity was found in the effluent. The paper chromatographic separation of this fraction did not give any active band when developed with *n*-butyl alcohol:ethanol:water (3:2:1). Further fractionations of these fractions are now under investigation.

書 評

NHKブックス「害虫とたたかう」

—防除から管理へ

桐谷圭治・中筋房夫著 (1977)

日本放送出版協会発行 229ページ

定価 650円

現代の農業における農薬禍をあつかった成書はいくつかあるが、現実これをどう解決するかという点について具体的に言及したものは少ない。有機農法とか自然農法とかが説かれ一部では実践されてはいるものの、食糧を安定して供給するという点からみても、一般的な解決策とはなり得ないと思われる。この本では、第Ⅰ章で我が国における害虫防除史、第Ⅱ章でカーソ

ンの「沈黙の春」の波紋、第Ⅲ章で減農薬への具体的試み、第Ⅳ章で殺虫剤に代わる防除法、第Ⅴ章で総合防除の考え方、第Ⅵ章で害虫防除から害虫管理への考えが述べられ、著者らの研究成果を中心に、将来の害虫防除の方向を示したものとして高く評価できよう。欲を言えば、この実現のためのもう少し具体的な提言があつてほしかった。また、農薬の安全性についてはAIDが少し触れられているのみであり、もう少しページをさいてほしかった。

人類の食糧危機がさげばれるなか、害虫防除にたずさわる学生、研究者、技術者などには必読の書であり、是非ご一読をおすすめする。

(名大農・宮田 正)

「防虫科学」バックナンバーの分譲

「防虫科学」は本号をもって終刊となります。本誌バックナンバーの購入についてしばしば問合せがあります。在庫品を下記価格で分譲いたします。

Vol. 17 (1952)～Vol. 42 (1977)

各 Vol. 2,000円

Vol. 16 以前の巻号には既に欠本になったものもありますが、御入用の方は巻号御連絡下さい。価格を御知らせいたします。

606 京都市左京区北白川 京都大学農学部

農薬研究施設内 防虫科学研究所

075-751-2111 内6305